

福島県知事 内堀雅雄 様

2025年4月16日
日本共産党福島県議会議員団
団 長 神山 悦子
副 団 長 宮川えみ子
幹 事 長 宮本しづえ
政調会長 大橋 沙織

大阪・関西万博に関する申し入れ

大阪・関西万博が今年13日、大阪府・夢洲で開幕しました。

日本国際博覧会協会は6日、万博会場内で着火すれば爆発の危険がある下限濃度（5V01%）を超えるメタンガスが検知されたと発表しました。今回ガスが検知された「グリーンワールド工区」では昨年3月にメタンガスの爆発事故が起き、同区ではメタンガスが1日当たり2トン（25メートルプール9つ分）以上出ており、本来は立ち入り禁止にすべき場所です。同区には誰でも近づけるガス抜き管が多数存在し、たばこやライターで火をつければ爆発してしまう危険性がありますが、万博遠足で子どもたちがお弁当を食べる団体休憩所の真正面にガス抜き管があるなど、極めて危険で、今回の件は、大量のメタンが管以外からも出ること、濃度も刻々と変化していること、対策が極めて難しいことを改めて示すものです。

万博協会はガス換気のための対策をとったとしていますが、今回検出に至ったことは大問題で、十分な対策がとられていない表れです。党国会議員の追及に武藤経済産業相は「局所的、一時的なもの」と強弁、開催を強行し安全に責任をもたない政府と維新の会、協会の姿勢が鋭く問われています。

こうした中、これまで多くの自治体が万博への学校遠足（招待事業）や修学旅行の見合わせを判断してきていますが、ガス爆発の危険に加えて、児童・生徒が安全に行動するための動線および点呼・待機場所の確保が不十分、トイレの数の少なさや熱中症対策に不安が残るとして、新たに中止を決断する学校もでてきています。大阪や岐阜などの教職員組合は知事や県教育委員会に対し、無料招待事業中止や修学旅行で万博への参加を強制しないよう申し入れたほか、大阪以外の近畿5府県も無料招待事業を行います、参加率は滋賀県15%、兵庫県28%、京都府36%と高くありません。

一方、文部科学省が修学旅行先としての活用について各教育委員会に通知を出していることから、実際に訪問を計画している学校も多く、宮城県気仙沼市は全市立中学校9校の修学旅行先を例年の東京方面から関西に変更、旅程を2泊3日から3泊4日に延ばし、1日を万博に充てるとしています。県内でも、関西方面を修学旅行先としている中学・高校が多く、万博がコースに含まれていることは大いに想定できます。実態把握を

急ぎ、公表するとともに、学校関係者や保護者の不安を解消できない以上、自治体が万博への修学旅行は中止する判断が必要です。

廃棄物処分場がある夢洲を会場にしたことで、万博理念に沿って成功のために取り組んできた人々の努力をも台無しにするような事態となり、大阪カジノをてこにベイエリアの乱開発をすすめるために夢洲開催を強行した自公政府と大阪維新の会の責任は極めて重大です。

また、万博協会が「しんぶん赤旗」や大阪民主新報、フリー記者らの現地取材を拒否している問題は、告発したSNSが1日半で250万表示回数を超えるなど大反響を呼び、「朝日」や「日刊スポーツ」などマスコミ各社もこの問題を取り上げています。取材排除は許されません。

危険な万博開幕の強行に抗議し、いのちと安全を最優先に以下の措置を講ずるよう要望します。

記

- 1、大阪・関西万博は、いのちと安全を最優先する立場から、開催中止を求めること。
- 2、大阪・関西万博が修学旅行先に含まれている県内中学校、高校については、保護者・教職員に現状を知らせ、早急に行き先の変更を検討すること。

以上